

インタビュー

地域に広がる支え合い活動

生活支援サービス担い手養成研修

地域で支え合いながら高齢者の暮らしを守る取り組みが広がっています。

高齢者のニーズに合わせて買い物代行やゴミ出しなど、ちょっとした困りごとへの生活支援を行う担い手を増やしていくため、地域に向かい研修会を開催しています。

今回は、南徳和自治会で開催された『生活支援サービス担い手養成研修』でお話を伺いました。



研修会

研修を実施するきっかけを教えてください

南徳和自治会長 渡邊さん

約20年前より地区の男性を中心としたボランティアの会があり、高齢者のゴミ出しや草刈り・剪定、網戸の張り替えなどを手伝っていました。しかし、ボランティアメンバーの高齢化が進み、生活支援活動が難しくなってきました。今後も増えていく生活支援へのニーズにどのように対応していくのかと悩んでいたところ、若い世代の人たちから「自分たちも何かしよう！」という声が上がりました。今回の研修を開催することになりました。今回の研修で得たことを地域に持ち帰り、活動してもらえると嬉しいです。

の研修をきっかけに、多世代での助け合いの輪が広がっていくように頑張りたいと思います。

参加者の声

●松阪生まれ・松阪育ちで地元が大好きなので、地域のために何かしたいと思っていました。この研修に誘っていただき良かったです。先生の話も楽しく、受けて良かったと思います。

●これまで福祉に関わることはなかったのですが、知ることだけでも大切ですね。色々なことを考えるきっかけになりました。子育て以外の福祉にも目を向けたいと思います。

第一地域包括支援センター
生活支援コーディネーター
松尾さん

介護サービスの利用に関わらず、日々の生活に密着したお手伝いが必要な方は、たくさんいます。南徳和地区は若い世代も多い地域です。普段から多世代での交流も活発にしていたので、養成研修開催のお声掛けをさせていただきました。皆さんの意識も高いので、高齢者の生活支援活動につなげていけるよう、行政との橋渡しや情報提供などを行いサポートに努めたいと思います。



受講書授与

【問】 高齢者支援課 ☎53-4099